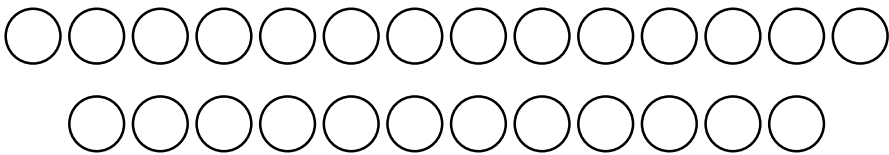


2019 年度（秋学期）
卒業研究 3（〇〇）

卒 業 論 文



氏 名： 〇〇 〇〇
回 生： 4
学生証番号： 26000000000-0
指 導 教 員： 毛利 公一 教授
提 出 日： 2023 年 1 月 31 日

内容梗概

本論文をまとめましょう

目 次

| | | |
|---|--------|---|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 図の挿入方法 | 2 |
| | 参考文献 | |

図 目 次

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 | キャプション | 2 |
|---|------------------|---|

表 目 次

1 はじめに

はじめには、2 ページを目安に書きましょう。卒論は量が多いため、チェックする人は変更点を見つけるのが大変です。指摘して頂いた点は`\Ca{ }`で囲むことで文字が赤色になります。提出時（黒に戻すとき）は、`main.tex` の`\setcounter{ChangedColor}{0}`を 0 から 1 にしてください。

参考文献は `bibtex` を使いましょう。普段からゼミで使用している人は、`references` ファイルを自分のものに置き換えてください。`bibtex` の使い方は、`references.bib` を作り、`\cite{jmoni}` の様に本文で参照 [1] し、`jbibtex` コマンドでさくっとできます。論文データベースには、必ず `bibtex` 形式というのが用意されているはず。その内容をコピーすれば基本は大丈夫。参考文献のスタイルは、情報処理学会の出現順のものを使用しています。

2 図の挿入方法

EPS は図 1 のように入られます。章タイトルの上に図が来ることがないように。

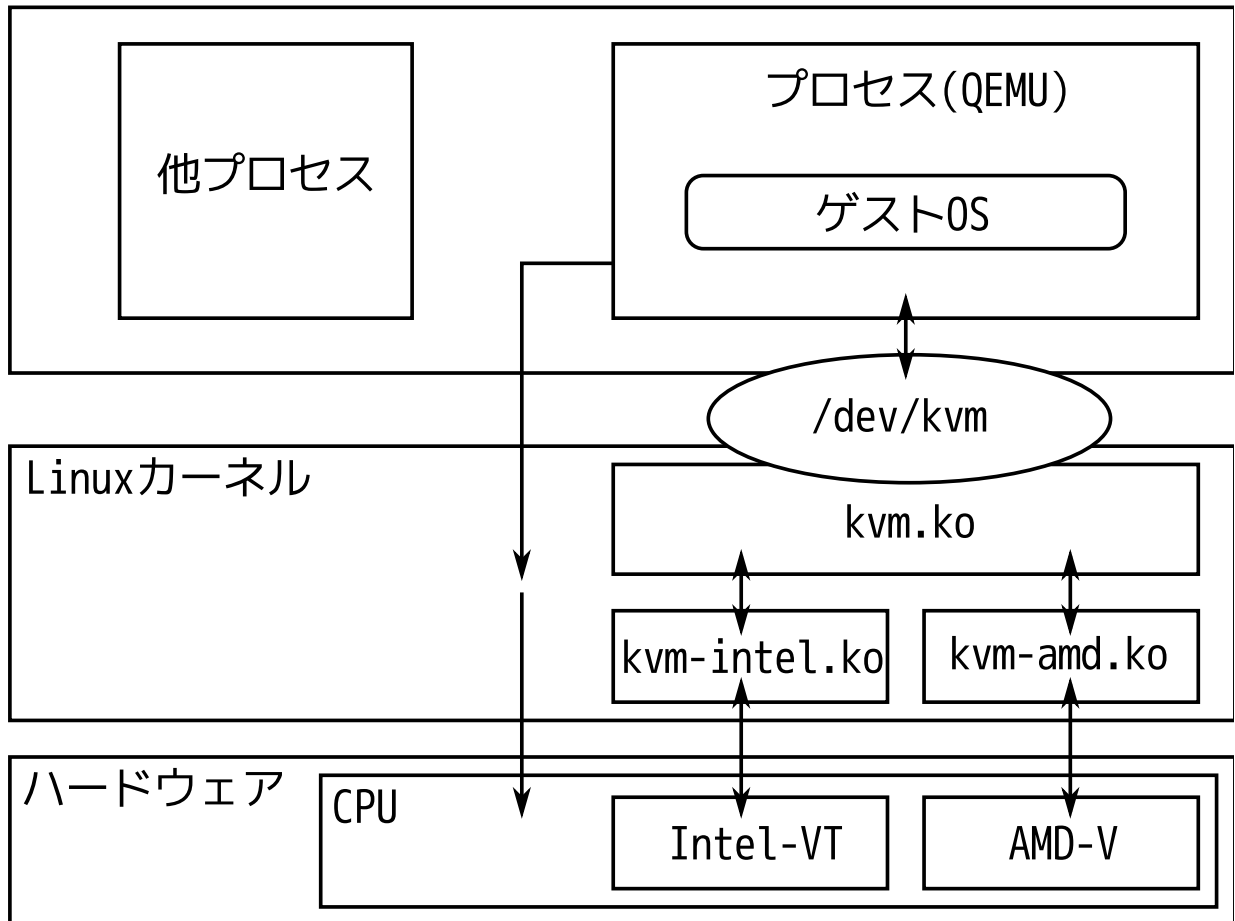


図 1 キャプション

謝辭

参考文献

- [1] Lei, J., Yang, X., Xiong, G., Jiang, W. and Liao, Y.: VMM-based Real-Time Embedded Systems, *International Conference on Embedded Software and Systems (ICESS 2008)*, pp. 213–128 (2008).